



「手話が言語である」ことへの認知が広がるよう
ブルーライトアップとパネル展示を実施します



ターゲット 3.8



ターゲット 10.2

2025年9月5日

郡山市保健福祉部

障がい福祉課

課長 渡辺恵一郎

TEL：924-2388

SDGs ターゲット 3.8 「すべての人の UHC（ユニバーサル・ヘルス・カレッジ）を達成する」

SDGs ターゲット 10.2 「全ての人々の能力強化及び社会的、経済的な包含を促進する」

9月23日の「手話の日」「手話言語の国際デー」に合わせて、手話言語への理解を深めるためにブルーライトアップとパネル展示を実施します。

1 ブルーライトアップ

(1) ブルーライトアップとは

「手話が言語である」ことへの認知が広がるよう、9月23日の「手話言語の国際デー」に合わせ、世界ろう連盟や国連のロゴの色であり、平和を表わすブルーの色で世界や日本各地でライトアップイベントが実施されています。また、国内において2025年6月25日に施行された「手話施策推進法」により9月23日が「手話の日」としても正式に定められています。

2015年郡山市手話言語条例が施行され今年で10年の節目の年を迎えた本市としても、「手話が言語である」との認識に基づき、より市全体が手話の理解に努め、手話の言語についての意識が高められるよう、また全ての市民が共に生きる地域社会を築くことを目的としブルーライトアップを実施します。

(2) 期間 9月22日（月）～9月28日（日）

(3) 会場 ① 中央公民館（郡山市麓山一丁目8-4）＜日没～21：00＞

② 郡山公会堂（郡山市麓山一丁目8-4）＜日没～21：30＞

2 手話に関するパネル展示

(1) 期間 9月16日（火）～9月28日（日）

(2) 会場 郡山市役所本庁舎1階市民ホール掲示スペース

(3) 展示内容

- ・郡山市手話言語条例に関するパネル及びパンフレット
- ・東京2025デフリンピックPRポスター及びチラシ
- ・第20回手話まつりPRポスター及びチラシ

○「手話言語の国際デー」及び「手話の日」とは

毎年、9月23日は「手話言語の国際デー」です。手話言語の国際デーは、2017年12月19日に国連総会で決議されました。決議文では、手話言語が音声言語と対等であることを認め、ろう者の人権が完全に保障されるよう国連加盟国社会全体で手話言語についての意識高める手段を講じることを促進するとされています。また、9月23日は1951年に世界ろう連盟（WFD）が設立された日です。

また、2022年より、WFDからの働きかけで、世界各地でWFDのロゴの色である「世界平和」を表わす青色でライトアップを行っています。

2024年には、47都道府県371自治体513箇所にてブルーライトアップを行いました。

【出典：一般社団法人全日本ろうあ連盟 国際委員会公式サイト】

2025年6月25日「手話施策推進法」が施行され、9月23日が「手話の日」として正式に定められました。

9月23日は



「手話の日」&「手話言語の国際デー」



フルーライトで

「手話が言語」であることを
アピールするよ！



INTERNATIONAL DAY
OF SIGN LANGUAGES



INTERNATIONAL WEEK
OF DEAF PEOPLE

【フルーライトアップ】

日時：9月22日(月)～9月28日(日)

場所：郡山市中央公民館 日没～21:00

郡山市公会堂 日没～21:30

【パネル展示】

日時：9月16日(火)～9月28日(日)

場所：郡山市役所 本庁一階展示フロア

